




も と は し つ う し ん

本橋通信

第67号
2026年3月

本橋Fαオフィス 電話:090-7909-2111/メール:rmotohashi0419@gmail.com

★★★この本橋通信は、私とご縁のあった方に差し上げている個人通信です★★★

👤 さまざまな「雪中〇〇」がありますね… 

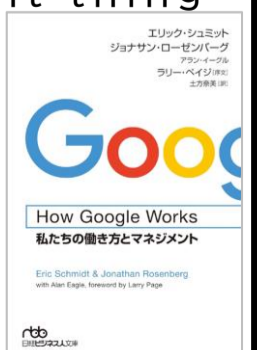
皆さまこんにちは。本橋通信第67号をお届けいたします。今月もどうぞ最後までお付き合いください。先日、新聞の紙面に「雪中松柏(せっちゅうしょうはく)」という言葉を見つけました。冬の厳しい寒さの中で他の木々が枯れる中、松と柏(ヒノキ科)は青々とした緑を保ち続ける力強い様子から、どんな困難な境遇であっても自分の信念や志を変えない事のたとえ…人の価値は平穏な時ではなく困難に直面した時にこそ、その真価が問われることになることになると、『論語』の子罕編にあるようです。自民党の圧勝となった2026年衆議院総選挙では、地域密着の人心戦略でライバル大物センセに大勝の若手候補、自らのチーム主張を最後まで貫いて見事に議席を獲得した新興政党もありました。政治の世界だけではありません。山あり谷あり、時には不祥事あり…の企業経営においても、逆境や危機時であるからこそ、君子(=経営陣)の姿勢や立ち振る舞いによって、その信念や誠実さが測られることとなります。ヒトさまとお約束したことを少しずつでもキチンと実行できるのか、凶らずも起こってしまったことをどのように信頼回復して行くのか…これから厳しい眼で見られる立場の方々がいる季節の変わり目だな~と感じるこの頃。呑気に他人ゴトのように言っておりますが、時々うっかりポカをしてしまう私自身も、当然ながら「雪中松柏」は頭の片隅に。



緊張感漂う中でも、着実に冬から春へと季節は進みます。早朝の出動時には、暗闇の中から爽やかな甘い香りの主: 蠟梅(ロウバイ)とわずかな残雪を発見。そして最後のオチを…ゴルフ中にちらほらと降り始めた粉雪は残り2ホールで大雪に変わり…人生初の「雪中ゴルフ」に。でも雪だるまと化すボールを最後までカップインし寒了!

 MFAO(Motohashi Financial Advisors Office)の本棚より 

今月は裏方の田村さんより『How Google Works 私たちの働き方とマネジメント』のご紹介。Alphabet(Google)の業績が堅調に推移しています。その勢いの源が気になり、2017年発行の本書を手しました。少し前の本ですが、今読んでも彼らの強さの理由がよく伝わってきます。本書が語るGoogleの成長の中心には、「スマート・クリエイティブ」と呼ばれる専門性と独創性を併せ持つ人材の存在があります。G社は彼らの力を最大限に引き出すべく、細かな管理をできるだけ排し、自由に挑戦できる環境づくりを大切にしてきました。その象徴が「Gmail」の誕生です。業務時間の20%を好きな研究に使っていいよというルールから生まれたこのサービス、個人の発想を信じる文化が実を結んだ好例だと感じます。こうした働き方の根底には、創業当初から掲げられた「Don't be evil(邪悪になるな)」という精神があります。現在は「Do the right thing(正しいことをせよ)」という表現に変わりましたが、短期的な利益より誠実さを大切にする姿勢は不変。この一本筋の通った価値観が、G社を長く時代の先頭に立たせているのだと思います。変化が激しい今の時代、数字やトレンドだけでなく、企業がどんな「魂(スピリット)」を持っているのかを知ることは、未来を考えるうえで大きなヒントになります。Googleという企業の熱量や考え方に触れられる、読み応えのある一冊です…



✍️ IFA (Independent Financial Advisor) 本橋の視点より ✍️

最近「これから、若しくはもう一度、投資や経済についてちゃんと勉強してみたい…」というお声を多く頂くようになりました。昨今、新NISAやイデコの制度改正といった資産運用や将来設計への環境整備、不確実性が高まる世界情勢・経済環境の変化と共に、ご自身やご家族の将来を考える上で、文字通り「おカネ」や無形資産である「人との関わり」といった多様な財産との向き合い方について、キチンと学んだり考えておきたいという意識の高まりかと実感しています。本コーナーにて**資産・将来設計における「一丁目一番地」**となり得るトピックスを時折ご紹介してゆきます。資産設計をスタートする前に、やっておきたい**「7つの心がまえ」**編。第7弾の最終回は**「常に自分自身を進化させる」**です。投資や資産運用に必要な知識は、オーソドックスで不変的なものと、その時々環境によって変わっていく2つがあります。基本的な肝、つまり①投資対象は分散する ②長期で考える ③投資タイミングは考えない…は昔から変わらない部分です。一方で世界情勢や経済環境、金融市場の変化によって、どんどん新しい投資対象(金融商品)も誕生します。この中から投資して良いもの、投資してはイケナイもの、良い投資先だけど自分に合っているのか、または必要ないかを吟味すべきもの、どのくらいならば組入れるべきか意思決定が必要なケース等々…常に判断力や金融リテラシーのアップデートが欠かせません。

さらに「資産配分が長期的なパフォーマンスを左右する」という不変的な投資真理がありますが、これも資産毎(株式/債券およびゴールド等…)の相関関係という動きの違いも変化してきます。極めつけはご自身がリスクをどこまで取れるか(=リスク許容度)も年齢やライフスタイルによって変わってきて当然なのです。ここまで考えると「正直ちょっと面倒くさいな～」と思われるかもしれませんが、年に一度でも定期的に資産配分を再考したり、投資仲間との相談会や本を読んだりセミナーに参加したり、信頼できる人のマネをしてみたり(最近はいろいろな情報源がありますが、信頼できるバックグラウンドチェックはお忘れなく!)もよし。難しく考えずに、いろいろ試行錯誤しながら、ご自身のスタイルに合った/意味のある資産運用の手法にしておくことが大切です。

◆編集後記◆

※再び京都の「山崎」へ…

京都の知人とのディナーにかこつけて、山崎のウイスキー工場のガイドツアー&試飲イベントに参加しました。嫁さんが密かに応募してくれ、大国からのインバウンド激減か? 見事繰り上げ当選を果たし、何とありがたや。世界に誇るジャパニーズウイスキー万歳。あっ、勿論遊んでばかりでなく、ちゃんと仕事もしながら昔のサントリーウイスキーのCM「人生おいしくなってきた」を実感…。



◆今後本通信をご希望されない方は、お手数ですがお知らせ下さいますようお願い致します◆

【発行者プロフィール】

本橋 竜一(もとはし りゅういち)、1974年4月19日生まれ。東京郊外八王子の高尾在住。早稲田大学卒業後、横浜銀行で金融マンとして社会人をスタートしました。その後、国内(あおぞら銀行、みずほFG、三菱UFJ)、外資系(スイスUBS)金融機関にて、約15年間に渡ってプライベートバンキング(ご資産家のお客さま専用金融サービス)を経験し、ファイナンシャルアドバイザーとして独立開業。家族は妻、娘、息子の4人。



趣味はエンジョイゴルフ(スコア3桁でも緑の芝で気分爽快!)と読書(ジャンル無差別:乱読・積読?)

お客さまに対する想い:人生に専属のファイナンシャルアドバイザーがいる安心感を提供したい…

本橋FαオフィスWEBサイトは と検索! <https://www.pfa-withyourlife.jp/>

皆さまからのご感想・ご要望をどんどんお寄せください。

➡ 本橋携帯:090-7909-2111 メール:information@pfa-withyourlife.jp